

2019年度 事業計画

最近「人生100年時代」と言われることがあります。単に、100年生きるだけではなく、健康でなければいい人生とは言えないのではないかと思います。このようなことから健康寿命を少しでも延ばすことが大切なこととなっており、その延伸策の一つとして生涯スポーツが注目され、以前にも増してその重要性が高まっています。

元号が変わる節目の年に、マスターズ陸上を取り巻く状況も大きく変わろうとしています。

本連合の会員すべてが2020年度までに日本陸連へ登録することが決まったことにより、本年6月に福岡市で開催される日本選手権大会の100mと1500mに出場枠が実現しました。エキシビジョンレースではありますが、これにより競技者として目指す目標が一つ増えたことにより、競技力の維持向上を図るとともに、マスターズ陸上の社会的認知度を高めることを目指します。

日本陸連が推進するウェルネス陸上の先進団体の一つとして、日本陸連と連携・協力し、マスターズ陸上の一層の進展を図るとともに、国民の健康増進に寄与することを目指します。

そのため本連合は、以下に掲げる各事業に取り組みます。

1 生涯スポーツ社会の実現

本連合の会員の競技力の維持向上を図るとともに、「だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも」の生涯スポーツのスローガンの下、次の事業を行い社会貢献に努めます。

(1) 全国大会の開催

- ① 全日本マスターズ陸上競技選手権大会（9月 群馬）
- ② 都道府県対抗全日本マスターズ駅伝競走大会（11月 愛知）
- ③ 全日本マスターズ混成陸上競技選手権
十種、七種、五種競技大会（10月 神奈川）
- ④ 全日本マスターズ競歩・マラソン選手権大会（10月 岩手）

(2) 国際大会等への参加選手の支援および組織運営への参画

- ① WMA, AMAの会議への役員派遣
- ② アジアマスターズ陸上競技選手権大会への競技情報提供者の派遣
（12月 マレーシア・クチン）
- ③ 2021年ワールドマスターズゲームズ大会への参画

(3) 社会貢献事業

- ① 陸上競技の普及啓発講習会および講演会の開催 各ブロック1か所

2 広報活動の充実

各種大会、イベント、ホームページ等を利用して広報活動を展開し、会員の拡大、本連合のイメージアップを図り、社会的認知度の向上を目指します。

- (1) ホームページでの情報提供を迅速化し、会員サービスの向上と広報の充実

- (2) 企業と連携した効果的な広報活動
- (3) 栄章、表彰の充実
- (4) マスターズ大使の活用
- (5) 会報（創立40周年記念誌）・記録集の発行

3 国際的活動

生涯スポーツの重要性が国際的にも高まっています。本連合では国際大会および国際会議に参加し、マスターズ陸上に関する国際情報の収集と交流を推進します。

- (1) 国際大会および国際会議への役員等の派遣
- (2) 世界記録の申請事務
- (3) WMA, AMA等国際機関の組織運営への参画

4 財政基盤の確立

現在の社会・経済状況下において国や地方公共団体からの助成金、企業からの協賛金の支援も厳しいものがあり、また、現スポンサーのAIGから、2019年度をもって全日本マスターズ陸上競技選手権大会のスポンサーから降りるとの通告を受けています。

平成28年度に会費を値上げしたものの本連合の財政基盤はなお脆弱さからは脱却したとは言えません。また、日本陸連全員登録による会員の負担増により、しばらくは会員数の低迷が予測されますが、事業を円滑に運営するため、引き続き財源の確保に努めます。

- (1) 新規会員の獲得
 - ① ロードランナーへの勧誘強化
 - ② 公益目的事業の実施によりマスターズ陸上の知名度の向上
- (2) 公益社団法人としての活動
 - ① 協賛企業の発掘
 - ② 公益目的事業の充実によりマスターズ陸上の社会的認知度の向上
 - ③ 日本陸連への全員登録により、ウェルネス陸上へ参画
 - ④ 普及啓発の一層の推進

5 事業企画・運営の効率化および組織の活性化

マネジメント機能を強化し、事業の企画・運営をより一層の効率化、組織の活性化を図ります。

- (1) 専門委員会を主体とした事業の企画および運営体制の確立
- (2) 人材を発掘、育成し事務局体制の充実
- (3) 地域ブロック連盟と連合との情報・意見交換会を行い連携の強化